



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社kubell 上場取引所 東  
 コード番号 4448 URL https://www.kubell.com/  
 代表者(役職名) 代表取締役兼社長上級執行役員CEO (氏名) 山本 正喜  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役兼上級執行役員CFO (氏名) 井上 直樹 (TEL) 050(1791)0683  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	2,587	15.8	468	63.8	280	268.3	279	296.9	197	—
2025年12月期第1四半期	2,234	15.5	285	129.2	76	—	70	—	△29	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 205百万円(—%) 2025年12月期第1四半期 △46百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	4.69	4.67
2025年12月期第1四半期	△0.70	—

(注) 1. 2025年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. EBITDA=営業損益 + 減価償却費及び無形固定資産償却費 + 株式報酬費用。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	6,371	2,157	33.9
2025年12月期	6,682	1,999	29.9

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 2,157百万円 2025年12月期 1,999百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%
通期	10,768~	13.0~	1,500~	9.4~

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期1Q	42,267,983株	2025年12月期	42,261,383株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	232,775株	2025年12月期	208,004株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期1Q	42,041,179株	2025年12月期1Q	41,722,308株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは「働くをもっと楽しく、創造的に」というミッションのもと、人生の大半を過ごすことになる「働く」という時間において、ただ生活の糧を得るためだけではなく、1人でも多くの方がより楽しく、自由な創造性を存分に発揮できる社会を実現することを目指し、仕事の効率化や創造的な働き方を実現するサービスの開発・提供に取り組んでおります。

このようなミッションのもと、現在の主力サービスであるビジネスチャットツール「Chatwork」は国内中小企業を中心とした顧客企業の労働生産性の向上や働き方の多様性を提供しており、国内利用者数N01（注1）のサービスとなります。中長期のビジョンとしてこのビジネスチャットの中小企業市場における圧倒的なシェアを背景に、あらゆるビジネスの起点となるビジネス版スーパーアプリとしてプラットフォーム化していく事でさらなる中小企業のDX化に貢献してまいります。

このビジョンを実現するための取り組みとして、当社はBPaaS（Business Process as a Service）を展開しております。BPaaSとは業務プロセスそのものをクラウドサービスとして提供し、企業がクラウド経由で業務アウトソーシング（BPO）を活用できる仕組みです。これにより、企業の業務負担を軽減し、より創造的な業務に集中できる環境を実現します。当社のBPaaSはビジネスチャット「Chatwork」を顧客の業務プロセスに組み込むことで煩雑なコミュニケーションを効率化し、業務を型化してサービスを提供することで、低コストで中小企業の生産性を向上させることを強みとしております。今後も、BPaaSを通じて企業の業務プロセスを最適化し、Chatworkを中心としたプラットフォームの拡大を推進することで、さらなる中小企業のDX化を支援してまいります。

当第1四半期連結会計期間においては、当社グループの重要な成長戦略の一つであるM&Aによる事業成長ならびに非連続な成長の実現に向けた取り組みを積極的に推進いたしました。まず、2026年2月にペイトナー株式会社より法人向けクラウド請求書処理サービス「ペイトナー請求書」の事業を譲受いたしました。本件によりFintechに係るケイパビリティを獲得し、経理業務DX支援を強化するとともに、既存顧客へのクロスセルやBPaaS事業への組み込みによるオペレーション効率化を図ります。さらに、2026年3月の取締役会において、クラウド郵便サービス「atena」等を運営するatena株式会社の完全子会社化を決議いたしました。これにより紙媒体の集配・管理に係る機能を獲得し、BPaaS事業における提供価値のさらなる向上を目指しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,587,079千円（前年同四半期比15.8%増）、EBITDA（注2）468,449千円（前年同四半期比63.8%増）、営業利益280,049千円（前年同四半期比268.3%増）、経常利益279,777千円（前年同四半期比296.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は197,186千円（前年同四半期は29,338千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

## ChatworkのARR（注3）、課金ID数、ARPU推移

	2023年12月期 第4四半期	2024年12月期 第4四半期	2025年12月期 第4四半期	2025年12月期 第1四半期	2026年12月期 第1四半期
ARR（百万円）	5,876	6,873	7,343	6,921	7,322
課金ID数（万）	73.1	78.8	83.8	80.7	84.5
ARPU（円）	672.4	731.7	730.3	719.5	724.9

(注) 1. Nielsen NetView 及び Nielsen Mobile NetView Customized Report 2025年7月度調べ月次利用者

(MAU:Monthly Active User) 調査。調査対象はChatwork、Microsoft Teams、Slack、LINE WORKSを含む44サービスを株式会社kubellにて選定。

2. EBITDA=営業損益+減価償却費及び無形固定資産償却費+株式報酬費用

3. ChatworkにおけるAnnual Recurring Revenue（年間経常収益）。各四半期のChatwork売上高×4

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて311,685千円減少し、6,371,268千円となりました。これは主に、現金及び預金が382,797千円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて468,820千円減少し、4,214,205千円となりました。これは主に、長期借入金が36,888千円減少、1年内返済予定の長期借入金が176,832千円減少、契約負債が64,911千円増加、未払法人税等が194,549千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて157,134千円増加し、2,157,063千円となりました。これは主に、資本金が825千円増加、資本剰余金が49,174千円減少、利益剰余金が197,186千円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は33.9%(前連結会計年度末は29.9%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月13日に開示しました業績予想からの変更はございません。当社グループの中期経営計画では2026年12月期までに中小企業No.1 BPaaSカンパニーのポジションを確立し、長期的には中小企業市場における圧倒的なシェアを背景に、あらゆるビジネスの起点となるビジネス版スーパーアプリとしてプラットフォーム化していくことを目標としております。2024年12月期から2026年12月期では、中小企業No.1 BPaaSカンパニーの目標に向けてグループ全体の成長を加速させると共に、利益を生み出せる体制の構築を進めてまいります。

中期目標としては2023年12月期から2026年12月期までの連結売上高CAGR30%以上、2026年12月期において売上高150億円、EBITDAマージン10~15%を目指しております。当初、本目標はM&A等を除くオーガニック成長での達成を前提としておりましたが、BPaaS領域におけるM&Aロールアップ戦略による成長の蓋然性が高まったため、2025年度第1四半期よりM&Aの実施を含んだ財務目標へと修正いたしました。今後は、ビジネスチャットの事業基盤の更なる拡大と、BPaaS事業のBPOモデルからの転換による継続的な売上成長を軸としつつ、M&Aや新規事業の創出を組み合わせることで、2026年12月期の目標達成を目指してまいります。

なお、当期の通期業績見通しにつきましては、現時点でのオーガニック成長を前提としており、以下の通りでございます。

	2026年12月期
連結売上高	+13%以上
EBITDA	15億円以上

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,455,235	3,072,438
売掛金	456,925	582,185
前払費用	878,146	747,779
その他	40,540	33,613
貸倒引当金	△957	△892
流動資産合計	4,829,891	4,435,124
固定資産		
有形固定資産	39,317	36,672
無形固定資産		
ソフトウェア	753,082	789,102
のれん	89,458	154,965
その他	249,280	287,036
無形固定資産合計	1,091,821	1,231,104
投資その他の資産	721,924	668,366
固定資産合計	1,853,063	1,936,143
資産合計	6,682,954	6,371,268
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	343,752	304,318
未払費用	252,546	182,669
未払法人税等	251,866	57,316
契約負債	2,225,510	2,290,421
賞与引当金	125,692	85,342
1年内返済予定の長期借入金	390,340	213,508
その他	230,895	259,261
流動負債合計	3,820,604	3,392,838
固定負債		
長期借入金	541,588	504,700
株式報酬引当金	320,833	316,666
固定負債合計	862,421	821,366
負債合計	4,683,025	4,214,205
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,008,265	3,009,090
資本剰余金	2,994,125	2,944,951
利益剰余金	△4,017,465	△3,820,278
自己株式	△115	△115
株主資本合計	1,984,810	2,133,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,513	2,513
繰延ヘッジ損益	12,605	20,902
その他の包括利益累計額合計	15,118	23,416
純資産合計	1,999,928	2,157,063
負債純資産合計	6,682,954	6,371,268

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
売上高	2,234,084	2,587,079
売上原価	744,955	705,923
売上総利益	1,489,128	1,881,156
販売費及び一般管理費	1,413,100	1,601,107
営業利益	76,028	280,049
営業外収益		
受取利息	1,402	3,087
ポイント収入額	1,206	1,393
雑収入	102	885
営業外収益合計	2,711	5,366
営業外費用		
支払利息	5,374	4,282
為替差損	1,231	1,061
その他	1,641	294
営業外費用合計	8,248	5,638
経常利益	70,491	279,777
税金等調整前四半期純利益	70,491	279,777
法人税、住民税及び事業税	56,167	39,181
法人税等調整額	43,662	43,408
法人税等合計	99,829	82,590
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,338	197,186
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,338	197,186

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△29,338	197,186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,028	—
繰延ヘッジ損益	△16,613	8,297
その他の包括利益合計	△17,642	8,297
四半期包括利益	△46,980	205,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46,980	205,484

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I. 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは、「プラットフォーム事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## II. 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

当社グループは、「プラットフォーム事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	130,652千円	105,533千円
のれんの償却額	一千円	4,708千円